



第一礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

前	奏		
頌	栄		
主の祈り		540	会衆
プレイズ		「どんなときでも」	
		「主はあなたを守る方」	
聖書朗読		ヨハネによる福音書 14:1	
祈	禱	(新約聖書 p196)	司会
賛	美	新生 131	会衆
説	教	「イエスの最後の教え」	牧師
祈	禱		
賛	美	501	会衆
献	金		
報	告		司会
頌	栄	新生 672b	会衆
祝	禱		牧師



第二礼拝次第

説教：渡真利彦文牧師

聖書	：創世記 45：1-15 (旧約 p81)
説教	：「すべてが明らかに」
プレイズ	：「栄光イエスにあれ」
	「つながっていよう」
賛美	：新生 379 新生 552



ファミリー礼拝

聖書	：ヨハネによる福音書 15：1～11
メッセージ	：「わたしは『まことのぶどうの木』」

< 卷頭言 >

「レント」を迎えて

牧師 渡真利彦文

3月を迎え、キリスト教会ではレントの季節を迎えました。今年は2月26日—4月11日の40日間となります。レントの他に受難節・四旬節(40の数や春を意味します)と呼びますが、キリスト教の最大の祭りであるイースター(復活祭)の前の、6つの日曜日(主日)を除く40日間を指します。

もともとは、バプテスマ(浸礼)を受ける兄弟姉妹が、イースターの前に40時間断食して、教育・訓練を受ける準備の期間が持たれていたのですが、それが次第に延長され、イエス・キリストが公生涯に入られる前に、荒野で四十日四十夜の断食と祈りの時を持たれたことになぞらえて、40日の断食となりました。

西欧の人々にとって「断食」というのは肉食を立つという意味で、普通、金曜日(キリストが十字架につけられた日)は肉をやめて魚料理を食べる習慣があります。この期間に6つの日曜日が含まれないのは、日曜日はキリストの復活の祝日の繰り返しとして守るのだから、断食日ではなく、祝餐日という意味で、断食期間から除かれたわけです。

その期間中は悔い改めを表す紫色の布を教会では用います。レントを厳格に守る教派(カトリックや聖公会)の場合は、この期間中は結婚式などの祝い事は行わないのが通例です。また、この期間には教会では「ハレルヤ」などの祝祭賛美を用いないことがあります。

このように教会では、「社会歴」と「教会歴」を共に用い、時の区切り方をもって生活しているのです。